

刊夕日三廿月五

常警日新聞

定価一紙五銭 一月一元五角 半年七元五角 一年十四元
 郵費別 十二字路 一行金五銭
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常警日新聞社 福島県平町五ノ廿八
 電話 六三〇
 印刷所 常警日新聞印刷株式会社

日米戦ふか

四丁目北川莊一郎

「日米戦争」どうもこの言葉は何時かは現実化するやうな気がする、これは自分の臆測かは知れないがその何時はも決して遠い将来ではなく、必ず近い将来に突発するやうな気がする。

歐洲戦争後間もなく誰言ふとなく次に來るべき世界的な大戦争は日米戦争であるといふ風説が既にその頃からたち初めた。

今度の滿洲事變から上海事變へと對支問題が擴大して以來、米國人の對日感情が非常に悪化して來た、殊に今年の一月から二月へかけての日本の上海總攻撃の眞最中には我軍の行動に非常に憤激して彼等は盛んに對日經濟封鎖を政府に迫りアメリカ婦人間には日本生糸を原料とした絹製品の不買同盟を起したり、シカゴの日本領事館は激昂せる群衆のために襲撃され、一時は愈日米戦争が勃發するではないかと思はれた、其後日本の上海撤兵開始によつて日米の國際關係は一時小康を保つてゐるもの、それは一時的現象であつて兩國は活火山の如く何時爆

發するかも知計り知れない状態にある。

アメリカ人も我々と同じく何時かは日本と戦はねばならないであらうと言ふ考は持つてゐるらしく、アメリカ海軍の某主腦者の「日米戦争近し」と言ふ著書が翻譯されて日本の雑誌にも轉載されてゐるが、それによれば米國は極東平和のため大陸の野心を有する日本と遠からず戦はねばならぬ、目下アメリカの軍備と經濟力は必ず日本を潰滅する丈の自信はあるといふ意味を述べ、米國人を煽動してゐる。

今から約二ヶ月程前の新聞電報によるソビエツ聯邦政府も

今迄の處では日米間の論争は外交上の文書戦に過ぎないが今後アメリカと日本の帝國主義は必ず衝突するであらう、随つて日米戦争は到底避け難き情勢にある

と論じてゐる、事實今日米を除いた世界何れの國を見渡しても戦争の危機を孕んでゐる國はない、先づ世界を震撼させる様な大戦争は日米戦争であると斷言しても決して過言ではない、けれ共一方平和論者は今日の様に文明が進歩すれば戦争は絶体的に防止出來得る

と言つてゐる、その主張する論旨は

歐洲大戰に於て三千億と言ふ莫大な富と三千万人の死傷者を犠牲にして結局得た處のものは何であつたか、總ては破壊の一語に盡されてゐる

ロシヤもドイツもイギリスも未だに戦争の疲れで弱り切つてゐる、現在の世界的不況も元をたゞせば皆歐洲大戰のせいだ、戦争の後には必ず不景氣が來る、戦争が如何に惨酷極まる馬鹿らしいものであるといふ事は知り盡した現在では戦争を防ぐために不戦條約が結ばれ萬一國際間に紛争が起つても國際聯盟が之を解決するから今後戦争と言ふ非文明的行為は再び繰返さないであらう

と述べてゐる、然し平和のため人道のためだと言つて國際聯盟を叫び不戦條約を結んでゐるアメリカが軍備縮少を唱へても何故軍備全廢を叫ばないのか、我々が人間である以上神様に限らない限り利益の上に来る亦生存競争の上に来る争鬪戦争は避け難い、今日如何に人文が發達したとは言へ戦争を絶滅する程迄は發達してゐないのである。

器灸温ムウチラ

醫學博士 推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

福島縣平町五ノ廿八
 志賀齒科醫院

特卸治 福島縣平町白銀町九
 代理療 志賀齒科醫院
 賣部 産婆 關口 悦子

定價表

金拾參圓 藥及特效五週間分付
 金拾圓 藥及特效五週間分付
 (說明書呈)

高久病院

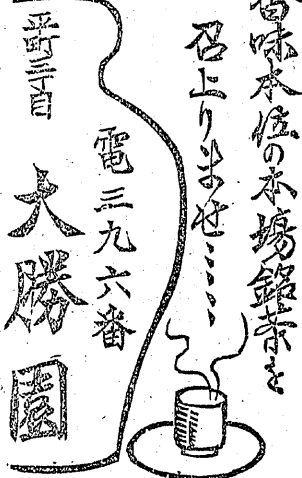
院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

香りのヨイ

本場新茶 入荷致しました
 ◎一斤 一、〇〇一、六〇

御來店の
 方に一服
 呈上……



吉田眼科病院

平町星町、電話六八八番

花柳科専門

木村外科醫院

入院自炊の便あり
 平町五丁目橋際
 電話三〇九番

申上げます

此度聚樂館南隣の「世界」と云ふカフエーを私の姉が經營する事になりました姉は人の好い割に不運な身の上でした弟として私は何とか幸福な老後を送らせ度いと存じます。充分勉強するさうですから何卒皆様御ひいきを願ひます。

伊藤 一



天祥洋品店
 平町田町通電話六五六番

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
 往診 呼吸器病ばかりではありません
 平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井 重之
 女醫 川井 安子

月曜言論

渡満三氏への總ばな

這般の平町會に於いて今回渡満の途に着く、井上、野崎兩縣議及び藤田平在郷軍人分會長の三氏に對し産業視察囑託の名目の許に、井上、野崎の兩氏には金井五圓宛、藤田氏には金井補助金を交附すべく決議した。然も同日の會議に於て平町は極度の財政難に陥り諸般の支拂に窮して、臨時借入及び小學校基本金の一時流用に依つて、青息吐息の苦境切り抜けを策せんと圖つて居る。即ち右の手に無理算段の借金を爲し、左手に渡満者への總ばなをバラ撒いたのである、矛盾又是れより甚だしきはない。

平町の産業の上に齎らすべく、右の三氏に對し新興滿洲國の産業經濟状態を仔細に實査して來て貰ふ事は望んでも止まざる處である。此事は三氏が補助金等の有無に拘らず、必らずや何等かの土産物を持ち歸る事を信じて居る、假りに若し三氏にして補助金なくんば視察の徹底を期し難しとするなれば、此際卅五圓や卅圓の零細な金額が果して幾許の成果を齎らし得るであらうか、然も平町にとつては此の零細な金が實に血の出る様な金なのである。

平町初頭教育上最良の事實として小學校兒童中發育不良と目すべき者九百五十名、營養不良兒が四百六十五名の多きに及び、是等の原因の多くは生活難に基く營養食の不足と見られて居る。第二の國民が斯かる悲惨な状態に置かれてある事を、吾人は漫然看過して恥なきものであらうか、蓋し兒童保健の大問題であり此事に善處すべく學校衛生の向上充實を圖るべきは焦眉の急務であるといはねばならぬ、然るに此事が一度でも町會の問題となつて何等かの對策を講ぜんと審議した事實を吾人は寡聞にして未だ聞かない。

斯くして此の重大事が對岸の火災視察されて居る一方に、滿洲行の總ばなは氣前よく振り撒かれたのである。石が流れて木の葉が沈むとは此事か、恐らく三氏と雖も此際氣持よく補助金を手にし得たものとは考へられない、否三氏の人格よりして寧ろ補助金の交附を迷惑に感じて居ると信じたのである。某議員は此事の會議席上『藤田君は今や戦時武裝して來れとの秘密命令に接しピストルの護身具を持參し命を的に渡満の途につくのであるから卅圓の補助金では少きに失す』とて補助金の増額説を主張したと聞くは是れ實にコケをどし甚しい言である、今は國民の悉

くが戦時武裝の時であつて渡満する藤田君一人が事新らしく鐵兜に身を固めるのみに限らない、殊にピストルの護身具に至つては噴飯に耐えぬものである、滿鐵線の旅行は寧ろ内地旅行より以上に無難であり安全であるといつて過言でない、故にこそ吾人はわが官憲と軍隊に對し熱謝し、國恩の有難さに感激するのである何が命を的にであり、何處に護身具の必要があるのかそれ程物騒であるのなれば

陳出博業産 機闘戰 平第一校に 無償拂下げ

平第一小學校にては阿見海軍飛行場より昭和産業博覽會に出陳せる戰闘機一台を無償拂下げ受けたので生徒の征空思想に資せんと校庭東南隅に縦四間横六間の格納庫を工費二百四十圓を以つて建設すべく近日に着工すると

忠魂碑前の 海軍記念式

平在郷軍人分會では来る廿七日海軍記念日に際し午後一時より松ヶ岡公園忠魂碑前にて學式し終了後凱旋兵の歡迎會を會費五十錢にて春木亭に催すと

平商遂に覇者

平地方野球ファンを熱狂せしめた磐城中等學校對平商業學校の第二回野球戦は既報の如く去る二十一日午後三時より磐中グラウンドに於て

Table with 2 columns: Team names and scores. Includes '磐中' and '平商' with scores like 9-1, 5-4, etc.

磐中劍道惜敗 既報 福島高商の縣下劍道大會に出場せる磐中劍道部選手第一回が不戦一勝第二回が昨年縣下中等學校大會に優勝せる福島師範と對戦三對二で惜敗し涙を飲んで歸校した

災害復舊工事の 第二回入札執行

既報平土木監督所の本年度に於ける災害復舊土木工事中第二回の道路並に橋架工事の入札は来る廿六日午前十一時より同所にて執行される事となつたが工事箇所及び工事日程は左記の如くである (道路)大野村大字上柳生字宮下地内三十二日 同村大字戸田字水押地内三

柔道大會の戦績

磐中第二位、平商第四位 (双中)七点一勝二敗一引分(平商)五点一勝三敗 (相農)四点三敗一引分 (相中)十九点三勝一引分 (磐中)十三点三勝一引分

ムシ齒豫防 各校が宣傳

平町各小學校にては來月四日日本齒科醫師會主催の下に行はれる第五回ムシ齒豫防デーに各校長が講演をなし各々兒童に宣傳ビラを配付すると

磐中辛勝 平商對庭球

既報磐城中等學校對平商業學校の庭球試合は去る二十一日午後二時半より磐中コートに於て根本、大坪、佐藤審判の下に舉行されたがスコアは左の如くにて磐中辛勝した

Table showing tennis match results between '磐中' and '平商' with scores like 4-0, 4-2, etc.

平町人事

- △大工町二佐々木盛男氏 長男和夫
△新川町三三鈴木六郎氏二女妙子
△六間門一五吉田幸三郎氏 長男隆吉
△大館一四岡野忠二郎氏五男忠英
△番匠町四〇松崎勇氏長女幸子

濱三郡の聯合演習 中等學校

大砲、機關銃も參加して

大野原を中心に

濱三郡中等學校配屬將校會議は既報の如く昨日午前十時より平商業學校に於て開會今年十一月双葉郡大野原附近に於て濱通中等學校聯合演習を執行する事の打合せを爲したが其の際は大砲二門、機關銃四臺加入し非常な壯觀を呈すと

頃より同風呂場にて板ノ間隊十件餘を働いた事發覺目下嚴重取調中

米廿二錢安値

平農業倉庫の販米

石城販賣利用組合平農業倉庫の共同販米は廿一日午後一時より行はれ四等十三俵を入札した結果八圓二十六錢を以つて平町菅野修一郎氏に落札されたが前回より二十二錢の安値であると

青訓主事 軍艦見學

本縣各青年訓練所主事並に指導員は既報巡洋艦木會の小名濱入港を好期とし七月廿二日午前八時より同艦上に集合艦長大川内傳七太佐の海軍々務の講演を傾聽し艦内の見學を行ふ由

野菜の捨賣に 組合側から苦情

打撃と打撃の衝突

石城郡平窪村農會が各農家の不振對策として數年前より毎夏夜間平町の本町通り野菜、青物類の即賣店を設け投賣同様の安値である爲め需要者側から相當好評を博して居たが是が爲め最も打撃を被つた八十餘名に及ぶ平町の青物商組合では對策として本日同組合總代古川四郎氏外八十餘名が連書の上平土木監督所に路上の賣店は不許可相成り度しと陳情したが若し不許可とならば平窪村農家に執つて

板の間縁

十餘件に及ぶ

石城郡内郷村字平太郎十七居住長野縣上水内郡三水村生れ無職酒井源太郎(四)は廿一日午後八時頃同村字町の磐城炭礦共同風呂脱衣場に於いて坑夫須田武助所有のコーレン上下服、懷中時計及現金十七圓入蓋口を窃取せんとして在署員に檢舉され平署に押送の上取調の結果同人は昨年十二月

在郷軍人協 議

在滿兵の慰問

石城在郷軍人聯合分會では廿六日午後三時より四丁目丸友ホールに於いて役員會を開催六月奉天に開かれる在郷軍人大會參列者羽岡軍醫、沼田少佐、藤田中尉に在滿兵の慰問を依頼すべき打合せをなし終了後は右三氏の送別會を開くと

常習賭博

本日公判開廷

茨城縣生れ住居不定前科十犯無職大津藤次郎(四)は今日十七日植田町大字佐藤字八反田澁川鑛泉に於て古口勝五郎外三名に對し骨牌を貸與し共に丁半賭博をなしたるが常習犯の爲め本日午前九時平區裁判所に於て中

島判事係り上田檢事立會の下に公判開廷事實訊問の上平刑務所に拘留した

先生方が 平第二書方稽古 小學校

職員一同は本日午後三時より作法室に於て書道研究會を開いた

衛生世話役

平町十

六區(北白銀町)では過般衛生世話役二名の満期改選を行つた結果遠藤鑑、菊地仙吾の二氏が當選した

生活難から 萬引の常習

平署の刑事室に
吳服物山を築く

石城郡内郷村字宮磐城炭礦購買部内に於いて廿二日午後三時頃一名の婦人が混雜を利用し銘仙一反を萬引せんとするのを係員が発見其筋へ突き出したが同人は同村字綴居住坑夫河江國松妻サヨ(三)で昨年夫が失業した爲め生活難から悪心を起し本年一月中旬購買部にて

水戸專賣局一行を 平町が大歓迎

水戸專賣局の高木局長以下八百名の大團體が關仰井嶽參詣の爲め來月三日來郡すべきは既記の如くであるが右團體は當日下山後午後二



明日のラジオ

今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
物語 醜い家鴨 徳田秀聲
後八、〇〇 ヴァイオリン
とピアノ 獨奏 ヴァイオリン
リン 龍作 ピアノ 獨奏
及伴奏 高折宮次
後八、五〇 連續講談「白
子屋騒動終席」西尾麟慶
後九、三〇 奉天より
後九、四〇 全國ニュース
氣象通報 番組預告

明日の部

前九、一〇 料理献立「鶏
サラダ」中村光三
前一〇、三〇 家庭講座
「家庭に於ける子女の教
育」四、高島平三郎
後一〇、〇五 獨唱と管絃樂
獨唱中村慶子 コロナオ
ーケストラ
後二、〇〇 家庭大學講座
「光の涙」文學博士椎尾辨
匡

報豫氣天

今晩は北西の風
曇り明日は北西
の風晴れ

平裁判所便り

△石城郡磐崎村大字上湯長谷字長倉炭坑坑夫加藤平八(五)は去月六日同村字湯台堂地内山林に於て不注意にも火の消ざる燐寸の軸木を投棄して大平正治外數名所有の山林約四町八反歩を焼失せしめ失火罪として罰金三十圓

△同郡泉村大字下小川字田宿百八十番地農古口勝五郎(四)同所字神山前九十四番地農三戸泰(六)同郡錦村大字江栗字鈴鹿二十四番地農古川初三(三)同所大字大倉字中迎百三番地農根本秀松(三)の四名は今日十七日植田町大字佐藤字八反田澁川鑛泉に於て骨子を使用して丁半賭博をなし各罰金三十圓に各々本日平裁判所にて略式

平職業紹介所報告

命令を以て處分された
求人者の部
△農夫 二十五才迄 尋卒
月八圓(内郷村某)
△女中 四十才迄 尋卒
給料面談(平町某)
△農夫 三十才以下 尋卒
月五圓(江名町某)
△女中 二十三才 尋一修
(平町某)
△雑夫 二十九才 尋二修
給料面談(内郷某)
△工夫 三十九才 高卒
給料面談(郡山市某)
△自動車運轉手 給料面談
(山形市某)
△鑄物工 二十才 尋卒
給料面談(湯本町某)

市原醫院

平町 田町
電話 一一番四

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉演
近藤 紫雲畫

第五十七席 真庭念流達人櫻井五助

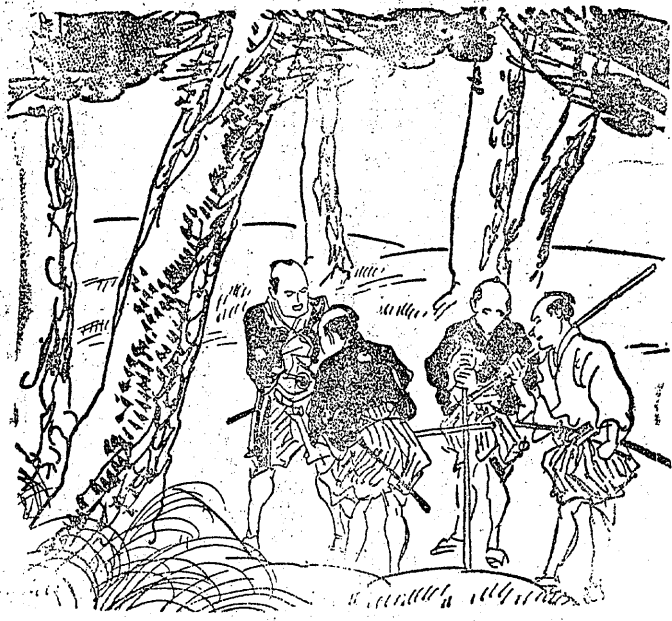
三人を立退かす

目附の岡島佐仲は五助を逃す事にした

五『御厚志は有難き事にございませうが拙者が立退きました為にあなたがお咎めを受けるやうなことがござりましては誠に心苦しく先づ成りゆきに任せることにいたしませう』

佐『イヤ其成りゆきが甚だ宜しくない、貴公程の人物を大死をさせるは残念だ、それゆゑ逃すことにした、先刻も申す通りわしには大したお咎めもあるまいと云ふは殿様は貴公に同情致し居られる、これは近侍の者から聞いた事だ、慙ういふ譯ゆゑ貴公が此處を立退けばとてこの腹を切るやうな事もあるまい』

五『然らば明日にも立退くことにいたします』
佐『そこでだ村上の若黨七郎次と女中のおかめも伴れて行けといふは二人には必ず重い咎めがあるに違ひない、家來として主人の非行を貴公に知らせしは主従の情に缺けた事との口實の下に嚴科に處せられる、二人を殺すは憫然だ、依て立退く節は伴れて行け』



五『承知いたしました』
そこで七郎次とおかめに此話をして翌日朝より旅の支度をして夜に入るを待つた、日のある中に逃げる事は出来ません、中に冬の日の短く何時か暗くなつた

佐『然うか直江津に長く逗留しては叶かんよ、追手のかゝる虞がある』
五『ハイ拙者も長く彼の地には居りませぬ、あれより江戸に参つて身を立てる存意にございませう』
佐『それが宜いコレ七郎次貴様も江戸へ参つて奉公いたせ』
七『此度はいろ／＼御厄介になりました、この御恩は忘れませぬ』
おかめと共に涙を流して申した、是からいよいよ出立する、岡島佐仲は若黨をして二三人を城下外れまで

岡島佐仲は五助に酒を侷め驅落を祝す、逃げるを祝ふは珍しい
佐『時に櫻井、是から何れへ参るナ』
五『一と先づおかめの實家直江津の漁師又兵衛の許に参りあれより江戸に出ることにいたしませう』

送らせ尙饒別として五助に十兩、七郎次とおかめには五兩與へた、幾度か禮を申して城下を離れた松原で附添の若黨を戻し三人打揃うて直江津の漁師又兵衛を便つて参る、此方は岡島佐仲です、其の日の十時頃に櫻井五助事上上の若黨七郎次

及び下女おかめと共に昨夜逃走したと老職の許まで許へ出た、中根與左衛門は直に村上周一郎を呼び寄せて五助の後を追へと申付け猶足輕二十人を添へた、周一郎は若者共を引連れ城内を出たが傍て何の方面へ逃げたかそれは判りませぬ、茲で五人づゝ分れて四ヶ所より追ひ行くことにした、この中で足輕小頭の武部藤藏といふ者は櫻井に就いて劍術を學びし者、これが部下を伴れて北の街道を行く藤『さう急ぐナ、何、それでも早く行かねば逃がすとの街道を確に逃げたか』

先生には罪は無い、罪の無い者を捕へてこれを罰するは甚だ不法なることだ、然し重役からの沙汰で追手に出た以上は兎も角も捕へねばなるまい』
○『御尤もございませう』
藤『さりとて罪の無き者を捕へては誠に氣の毒にも存する、さりとて捨置く譯にはなるまいさりとて』
○『これは驚いたどうすれば宜しうございませう』
藤『さりとて辛いナあ、役目は辛い、あ、ちよつと休息して行く』
と掛茶屋に入つて悠々休息する。

○『それは判りませぬが村上様に奉公してゐたあの女中は直江津のものでございませう、それですから此處をまつすぐに参れば自然直江津に出られます』
藤『ハ、ア成程直江津に知己があれば櫻井先生はそれへ参つたであらう、然し我々が氣が附くやうな處には行くまい直江津に行つたと見せて方面を變へて参るであらう、後へ引返せ』
○『然し折角これまで参つたものでございませうから直江津へ行き、探ねて見ませう』

藤『イヤ直江津には居ないよ引返せ、コレ、待て、又しても急ぎ居るか櫻井先生は悪い事をした譯ではないぞ、村上主殿様が不埒なことをいたしましたから櫻井先生がその罪狀を擧げて腹を切らした、然すれば

「ロクマクの人」の心配無用

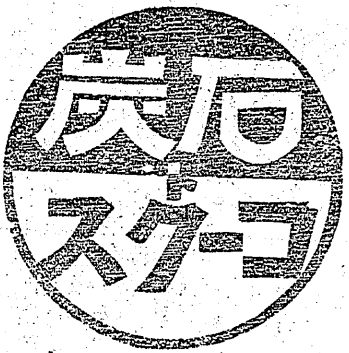
不治の病とは過去の事です、醫藥を用ひて渺々しくない方靈能偉力を有する『マムシ』を用ひて下さい、但し素人の幼稚なるマムシの服用法にては効果ありません、今回研究部員が秘法公開致します、遠慮なく相談にお出下さい、
◎特におすゝめ致し度い方説明書差上します。
心臓病の人 胃腸病の人 性力欠乏の人 神經衰弱の人 体力の衰へたる人 食欲なき人 冷性婦人病の人 腎臓病の人
東京市淺草田島町九一川上蛇類研究所
平町五丁目二二(金光堂時計店裏)
代理販賣所 井内

平新川町十九

木村病院

電話一六四番

産人科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學士 松永憲一
内臓外科 整形外科



皆様がよい品をお求め
お求めなら先づ...先づ
三三番へ

よい品を安く賣る店

電話三三七番

阿部石炭商店